

第2回 内灘海岸賑わい創出事業基本構想検討委員会 会議録要旨

日時 平成30年6月25日(月) 10:00~11:45
場所 内灘町役場 4階 407会議室
出席委員 竹村委員・北上委員・七田委員・中谷委員・田中委員
事務局 田中 都市整備部担当部長・松井 課長・川端 課長補佐

○議題

- ・第1回委員会での意見と対応、内灘海岸の課題について
- ・基本方針、基本構想について

●委員からの主な意見

- ・昔の浜茶屋のような休憩できる場所が必要。夏場は、泳ぎに来る人はいいが、泳がない人、特に年配者などは暑くて外にいられない。くつろげる空間が必要ではないか。
- ・昔から地引網が楽しまれており、獲れた魚を浜茶屋で料理して食べていた。今はそのような事を出来る施設がない。
- ・海岸でバーベキューをする人が多い。施設があれば、ごみ捨てなどマナーが向上するのではないか。
- ・“食”「冬の海の幸(海産物)など」を売り出すことで、年間を通じた賑わいを創出することができるのではないか。観光庁でも「訪日外国人が年間を通じて楽しめるビーチの活用」モデル事業を企画している。
- ・SNS等を活用した情報発信は非常に重要。より具体的な方法を検討してほしい。
- ・かほく市の道の駅高松は、海岸へ降りることができ、食を満喫し、夕日を見ながら休憩できる施設となっている。来た人にお金を落としてもらえ、核(拠点)となる施設が必要。
- ・海岸へのアクセスについて、歩道だけでなく、自転車が走れるゾーンを整備してはどうか。また、鉄板道路だけでなく、旧鉄道線を活かした海岸までの散策コースを設け、回遊性を高めてはどうか。